



# 静岡市 いきもの 散策マップ

## 谷津山コース

### とり・どうぶつ

#### ●メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

#### ●キセキレイ



スズメより大きくほっそりしていて、胸からお腹までが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫をつかまえて食べます。

#### ●ジョウビタキ



スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒツヒツ」と鳴きます。

#### ●カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色の模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

#### ●シジュウカラ



スズメくらいの大きさで、「ツイピーツイピー」と鳴きます。山地から、人家のまわりでも見られます。

#### ●ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

#### ●コゲラ



スズメくらいの大きさで「ギーギー」と鳴くキツツキの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。

#### ●キジバト



「デデッポー」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

#### ●ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは木の上で「チュウピ、チュウピ、チュウピ」と鳴きます。耕作地などで見られます。

#### ●ヒヨドリ



ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることが出来ます。木の実、果物を好んで食べます。

#### ●ツバメ



春に日本へやってくる渡り鳥で、「チュビチュビ」と鳴きます。人家の軒先に巣を作り、子育てをします。

#### ●キビタキ



スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が橙色で、胸からお腹までが黄色をしています。

#### ●ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャッチャツ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。

#### ●ムクドリ



スズメより大きな鳥です。「キュルキュル」と騒がしく鳴き、街路樹をめぐらするたため、人に嫌われることがあります。

#### ●タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、すんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

#### 外来生物

#### ●ミシシippiaアカミミガメ



幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとしてよく飼われます。捨てられたカメが増えています。

#### アクセス情報



#### 【電車でのアクセス】

《清水山公園》  
静岡鉄道「音羽町駅」下車  
きよみずさん通りを北西に  
向い、徒歩2分(約150m)

#### 《静岡県護国神社》

静岡鉄道「柚木駅」下車  
山側を北東に向い、徒歩5分  
(約300m)

#### 緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

#### 注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク

発行者：静岡市清流の都創造課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666

制作年：平成25年3月

### しょくぶつ

#### ●シャガ



アヤメの仲間で、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4~5月に少し紫がかった白色の花を咲かせます。

#### ●イタドリ



陽当たりの良いところに生える植物で8~10月に白い花を咲かせます。若い茎は柔らかく、山菜として食べられます。

#### ●ツククサ



7~9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にはしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。

#### ●トキワツククサ



南アメリカ原産の植物で、陽当たりのあまり良くない道ばたや林の中に生えています。5~7月に白い花を咲かせます。

#### ●カタバミ



ハート型の3枚の葉が1組になっています。春から秋まで黄色の花を咲かせます。実は熟すと弾けて種を飛ばします。

#### ●ムラサキカタバミ



南アメリカ原産の植物で、庭や道ばたなどにたくさん生えています。3~8月、11~12月に赤紫色の花を咲かせます。

#### ●ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

#### ●ドクダミ



6~7月に白色の花を咲かせます。全体に独特のにおいがあり、葉やお茶に使われます。白かげの湿ったところに生えます。

#### ●ノコンギク



山地の林のまわりでよく見られます。9~11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の表裏に短い毛があります。

#### ●トネアザミ



低地から山地までに生えているアザミの仲間。9~11月に赤紫色の花を咲かせます。

#### ●アジサイ



6~7月に赤紫から青紫色の花を咲かせ、咲いてから花の色は徐々に変わっていきます。毒があることでも有名です。

#### ●ハハコグサ



4~6月に黄色の花を咲かせます。道ばたなどに生育します。ゴキウウとも呼ばれる春の七草の一つです。

### むし

#### ●キアゲハ



開けた草原を好みますが、山頂にも集まります。幼虫は他のアゲハチョウの仲間とは異なり、セリ科の植物を食べます。

#### ●キマダラセセリ



草原や林のまわりすみ、ヒメジョオンやオカトラノオなどの花を好みます。6月から9月にかけて、2回発生します。

#### ●ニフハンミョウ



体長2cmくらいのハンミョウの仲間です。オリブ色の体に白い模様があります。成虫は4~10月に見られます。

#### ●ホタルガ



はねの長さが3cmくらいで、昼間に活動するガの仲間です。成虫は6~7月と秋のはじめに見られます。

#### ●オオスズメバチ 要注意



日本最大のスズメバチで、日本のハチでは最も強い毒を持ちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

#### ●ヤマトシジミ



早春から初冬まで、平地や低い山のいたるところで見ることが出来ます。幼虫はカタバミだけを食べます。

#### ●アオスジアゲハ



林のまわりにはいますが、市街地でも見られます。活発に飛びまわって、花を訪れます。幼虫はクスノキを食べます。

#### ●アサギマダラ



春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリバナが特に好きです。

#### ●ミヤマアカネ



アカトンボの仲間で、はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6~11月に見られます。

#### ●ヒカゲチョウ



日本だけにいるチョウです。年に2回発生し、5月から10月まで見られます。夕方になわばりを張って飛び回ります。

#### ●イチモンジセセリ



成虫は初夏から初秋にかけて、年3~5回発生します。秋になると数が増え、幼虫はオイネ科の植物を食べます。

#### ●ツチイナゴ



体長5~7cmの淡い土色をしたイナゴで、草の茂った野原にすんでいます。秋に成虫になり、そのまま冬を越します。

### メモ

## しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!! (ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)